

大盛況の地蔵まつり！

和田町に傘の花開く

■ 第三十四回目の協議会の概要

第34回協議会が9月5日に開催された。今回は地域の方々、横浜国大の教員・学生、区役所の方々などを含め、28名の参加があった。今回の協議会では主に、和田町で現在進行中のプロジェクトの現状報告や協力要請のほか、地蔵祭りの結果報告、横浜開港150周年記念イベントの紹介が行われた。

■ 地蔵まつり報告

去る8月23日・24日に行われた地蔵まつり。26回目にして初2日連続の雨となってしまった。しかし会場の催し物には多数の見物客が詰めかけ、色とりどりの傘の花を咲かせていた。

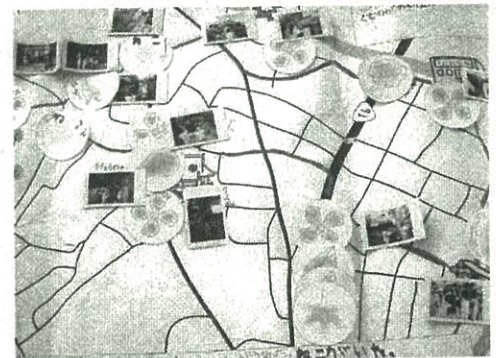
雨により中止となってしまった演目もあるため、来年は好天に恵まれることを祈っています。(^ _ ^)

国大生も地蔵まつりに参加

国大から、12月に定期演奏会をひかえた吹奏楽団の他、留学生による音楽祭、平成タイコ隊による演奏が行われた。どのステージも、異なる文化による独特の演目を披露し、まつりに花を添えていた。



雨の中
地蔵まつりを楽しむ




子供たちが作った
個性的な自然検索マップ



編集後記！

暦の上ではもう秋ですが、それにしても気温が下がるのが早いように思えます。朝晩は特に冷えるので皆さんも体調にはご注意ください。

今回取り上げたこどもまち探検の補足ですが、子供たちが作った**自然検索マップ**がダンボふれあいバザー(11月23日地域作業所ダンボにて)や和田べっぴんマーケット(11月開催予定)にて公開されます。また**杉山神社**に植樹されたハナモモの木は来年には花開くということなので、今回参加できなかった方も木の成長をあたたかく見守ってください。

和田ぺんプロジェクト 

■ わだまち自然探検隊出動！

9月27日に子供たちによるまち探検が行われ、小・中学生や城の方々など多数の参加があった。

第6回となる今回のテーマは「環境」。「わだまちな自然を探索せよ」と題し、子供たちが4チームに分かれ和田町近辺を探索し自然検索マップを作成した。樹齢400年の木に直接触れて自然の偉大さを感じる子供たち、また保護者の方からは「和田町が子供たちに探検を企画してくれる地域で良かった」といった声も挙がった。

横浜市150万本植樹行動にも参加

まち探検のフィナーレでは、杉山神社にハナモモの木と椎の木をそれぞれ2本ずつ、計4本を植樹した。子供たちの手で木に土がかけられ、探検中に手に入れたまちの湧き水や川の水をそれぞれの木にやり、まち探検は幕を下ろした。



ハナモモの木